

～都議会公明党の活動記録から～

岩手



5月7日 岩手県大船渡市・市街地が津波に襲われ、多くの家屋・商店とともに大型漁船が流され、高台にある民家の直前に残留していた。



5月7日 岩手県陸前高田市・津波による甚大な被害状況を調査するとともに、被害を免れた高台地区を訪問。水・電気・ガスが寸断され約2カ月間、風呂にも入れない陸の孤島状態に。支援物資も行き届かず、食糧は一日パン2個とカップ麺1個と時々缶詰1個が届く状況。早速、災害対策本部へつなぐ。



5月6日 岩手県・東京現地支援事務所にて被災状況の説明を受ける。

茨城



5月31日 茨城県大洗町・津波の襲来時、戸別に配置されていた防災行政無線により人的被害を最小限に留めた取組みを聴取・視察する。



6月1日 茨城県鉾田市・農業生産者から直接、放射能への危惧と風評被害の状況を聴く。



5月31日 茨城県那珂港・漁業関係者から港の被害状況と復興支援について意見交換を行う。

都内

4月26日 液状化現象により砂が噴出し、陥没した歩道を調査する。(江東区内)



5月22日 被災地や被災地から離れた地域の青果・水産物の風評被害撲滅イベントを応援。漁業関係者から話を聴く。(築地市場)



5月17日 シンガポール最大の人道支援団体「NGO」により被災地に長期間保存可能な60万食のおかずと放射線防護服500着の提供を受ける。伊藤都議が関係部署と連携を取り後押し実現。(都庁内)



5月27日 震災で間接被害を受けている都内の各種団体から要望を聴取する。(都庁内)

都議会議員 伊藤こういち 通信

東京都議会 第2回定例会特集



東日本大震災により被災された方々と関係者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。
都議会公明党は、被災者への支援、被災地の一日も早い復旧・復興と、東京の防災力強化のため、全力を尽くします！

被災地調査を踏まえ、現地支援！ 首都・東京を高度な防災都市に！ 知事に申し入れ、都議会で具体的提案！



現地のさまざまな声を聴き、石原都知事に被災地支援に関する申し入れを行う。(5月13日)

震災直後から、都への主な申し入れ内容

- 3月12日 警視庁、消防庁、都各局の防災機関をはじめ、被災地への緊急総合支援を全力で講じるよう要請。
- 3月14日 物資・財政支援など被災地への切れ目ない救援策と被災住民を都施設や公営住宅で緊急受入れを。
- 3月23日 水道水における放射性物質の調査と、乳児のいる家庭にペットボトル飲用水の配布を要請。
- 3月25日 大震災の影響を受けた都内中小企業への融資を拡充するよう緊急要請。
- 4月12日 都内に避難した子どもたちの教材費、修学旅行などの経費を補助するよう要請。
- 5月13日 岩手・宮城・福島での現地調査を踏まえ、
 1. 被災自治体への人員派遣の強化
 2. 被災者のニーズにあった物資の支援
 3. 災害破損物処理への支援
 4. 「心のケア」にあたる人材の継続派遣
 5. 風評被害に対する具体的支援
 6. プレミアム付き地域振興券の発行
 など11項目を要請。石原都知事は、都議会公明党の提案を高く評価するとともに、「できることから取り組んでいく。」と表明しました。
- 5月25日 被災地での消費喚起や観光振興支援を。
また、都内の放射線検査の拡充と情報提供、地域防災計画の見直しなどを要請。
- 5月26日 赤プリへ避難した子どもたちが6月末の期限で再転校しなくて済むよう配慮することを要請。